

科目名		地方自治論特殊講義Ⅰ	
担当教員	江藤俊昭	科目区分	選択必修科目
開講区分	前期	単位数	2単位
曜日時限	木曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	地方分権改革の動向を視野に入れ、自治体の意思決定を住民の側に接近させる戦略を構想することをこの講義の目的とする。具体的には、地方議会の活性化と、住民投票を含めた住民参加についてである。		
授業概要	<p>そもそも地方議会に対する批判的な論調はあるものの、「公開と討論」を前提とする地方議会は、民主主義的な政策形成にあたっては、重要な役割を担わざるをえない。それにもかかわらず、今後の地方議会の役割の模索を従来の地方行政の中で考えることには問題がある。地方議会は政治の領域にあり、地方行政の領域で議論するのは誤りだといった、一般的な意味においてだけではない。なぜならば、地方分権時代とは、地方政府への権限・財源の委譲にとどまらないからである。</p> <p>また、従来より住民参加は様々に議論され実践されてきた。しかし、それが充実していないのはそれのみあった条件が整備されていないからだと考えている。この整備の方向を考えることにしたい。同時に、今日脚光を浴びている住民投票も考えることにしたい。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	地方政治の台頭——行政重視から住民が主体の政治へ——		
第2回	地方自治の特徴——二元的代表制と二層制——		
第3回	地方分権改革の動向と住民自治の課題		
第4回	二元的代表制の「的」の意味を考える ——二元的代表制＝機関競争主義（上）		
第5回	地方政府形態としての二元的代表制の選択 ——二元的代表制＝機関競争主義（下）		
第6回	市町村合併と道州制——地方自治の二層制の変化と住民自治		
第7回	都制と特別市構想——議会改革を多層な自治の住民統制に活かす		
第8回	地域経営のルールとしての自治・議会基本条例（上）		
第9回	地域経営のルールとしての自治・議会基本条例（下）		
第10回	地域経営の軸としての総合計画		
第11回	住民自治の進展（上） ——地域経営の新たな手法		
第12回	住民自治の進展（下） ——地域経営の新たな手法		
第13回	議会からの政策サイクル（上） ——議会改革の本史とその第2ステージ		
第14回	議会からの政策サイクル（下） ——議会改革の本史とその第2ステージ		
第15回	問われる議員定数・報酬、議会事務局、政務活動費の充実強化——住民自治の進化・深化の視点から考える		
準備学習等（課題・予習・復習・調査等）	事前に配布する資料を読み講義に参加する。『議員NAVI』に連載している「新しい議員の教科書」を基にしている。		
評価方法・基準・講評の方法	報告とレジュメ（40点）、レポート提出（60点）によって評価する。講評は、個別にメールで対応する。		
テキスト・参考書	<p>テキスト：なし（ただし、事前に資料配布）。</p> <p>参考書：江藤俊昭，2012，『自治体議会学——議会改革の実践手法——』ぎょうせい。江藤俊昭，2016，『議会改革の第2ステージ』ぎょうせい。今井照，2017，『地方自治講義』筑摩書房。</p>		
前年度の授業をふまえた今年度の授業方針	授業アンケートによれば、授業での教材や講義、その後の討議について問題はなく（充実）、基本的に踏襲する。なお、講義途中でも要望があれば授業方針を変更する場合もある。		
学生へのメッセージ	事前配布資料を読むとともに、積極的に討議に参加してほしい。		
授業に参考となるサイト	<p>総務省審議会・委員会</p> <p>http://www.soumu.go.jp/menu_sosiki/singi/index.html</p>		

関連する画像	
その他・備考	